

実験・応用心理学専攻／臨床・発達心理学専攻【博士後期課程】

時 期	項 目	内 容・目的等	
入学試験時 および入学時	指導教員の決定	口頭試問により研究希望領域および研究計画を確認 研究科委員会にて入学試験可否と指導教員決定	
1・2 年次	4月上旬	研究科主催ガイダンス 研究計画の確認と履修指導	研究科長・領域主任による学習に関する基本的事項の説明 指導教員による研究計画の確認 指導教員による研究計画にしたがった個別履修指導（履修相談）
		(1～3年次) 指導教員の研究指導科目履修	博士後期課程3年間にわたり指導教員の演習科目履修 ・研究計画の確認と修正 ・教員指導の下で計画に基づく研究の開始 ・博士論文の執筆方法等の確認 ・学会発表や学術雑誌投稿に関する指導 ・年度末に研究活動報告書を研究科委員会に提出 ・心理学論・学史演習などの専攻共通科目を履修しつつ学識を深める
	5月上旬 10月上旬	研究構想発表会	前期課程の学生も含めた研究構想発表会で報告 ・研究構想へのアドバイスを得て構想・計画の確認と見直し
	4月上旬	研究計画の確認	指導教員による博士論文の構成等確認
	5月上旬	博士論文構成等発表会	博士論文の構成等を発表し、研究科教員のコメントを得る
3 年次	5月～11月	指導教員の研究指導科目履修	博士論文の作成 研究計画に基づく研究の継続 ・国際的あるいは全国的学会での発表 ・学術論文の執筆と投稿
	11月	博士学位請求論文の提出	学位論文の提出（学位授与申請） 11月博士後期課程委員会・研究科委員会 学位審査委員会を組織（主査および副査数名） 博士後期課程委員会・研究科委員会にて学位授与申請の承認
	11月中旬 ～2月	博士学位請求論文の審査	博士論文の審査 1月末～2月初旬：博士論文の内容、関連する学識その他に関する口頭試問（公聴会） の実施 2月研究科委員会 ・学位審査委員会は審査結果を「学位審査報告書」として博士後期課程委員会に提出し、研究科委員会が最終的に審議決定する
※在学延長について	標準修了年限の3年では論文完成に至らず、もう少し時間の必要な学生に限られる ・課程博士の学位取得に関する限られた年限内の論文完成を目指して指導を行う ・必要な単位は取得済のケースがほとんどであるが、指導教員担当の「研究」の授業を継続受講し、論文完成に向けて指導を行う		

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある